

ぎょうざれん第42回全国大会inあいち みんなのでつくろう。大会を成功させよう

今回の会場は愛知県（名古屋国際会議場）ですが、東海地方（愛知、岐阜、三重、静岡）の仲間たちが力を合わせて準備を進めています。

やろまい会（仲間の会）では、岐阜の「飛翔の里」でロックソーランの練習を合同で行い、三重県の「笠取の里」にてうたごえの合同練習を行いました。また、愛知県内でも7月13日に西養護学校の体育館をお借りして、うたごえの合同練習を行いました。

実行委員会では、大会本番が目前に迫っていることもあり、準備に大忙しです。実行委員会のメンバーは、20〜30代の職員が多く、行政や今まで関わりのなかった団体に連絡調整をしたり、大会の流れを考えたり慣れないことに悪戦苦闘しつつ、みんなで力を合わせています。

全国大会をきっかけに今まで知らなかった仲間や職員と出会うこと。今回の大会テーマである「つながりよまい未来へ つながるまいなかまの輪」を体現していると思います。

大会資金や要員・ボランティアの確保など、まだまだ募集中です。引き続き応援よろしくをお願いします。
（ネットワークみなと 川又宏樹）

第42次ぎょうざれん国会請願署名 協力ありがとうございました。

5月23日（木）におこなわれた「ぎょうざれん署名第42次国会請願行動」に参加してきました。みなさんから寄せられた署名の束を持ち、東京の国会議員会館の中を歩き回ってきました。

今回、イルカ作業所からは仲間2名、家族1名、職員2名が参加しました。法人全体では10名が参加しました。休日と一緒に出かけられるヘルパーの不足や作業所職員を増やしてほしいといった訴えを7,839筆の署名を持って議員さんや秘書の方にしっかりと伝えることができました。
（イルカ作業所 佐藤彩）



おでかけください



うろじの家まつり

9/16(月) 10:00 - 13:00

今年も、うろじまつりを開催します。現在、入念に計画をつくっています。作業室ごとにイベントブースを設けるなどして、大ぜいの人にうろじまつりを楽しんでいただけるよう準備中です。今年も、すてきなゲストを予定。乞うご期待。

イルカまつり

9/21(土) 10:00 - 13:30

今年でイルカまつりは17回目になります。法人内のオリジナル商品や作業所えがおさんのうどん、センド・ハピネスさんのアイスなどいろいろの出店計画中です。またステージ企画では、仲間も元気に発表する予定です。



みんなで、お待ちしております。

編集後記

今回の「明日をつむぐ」初秋号はいかがでしたか？

連載企画「ミラクルファーム通信」では畑の様子等、お伝えしています。ミラクルファームで育ったジャガイモやネギが作業所の昼食にも使われていて、仲間が育てた野菜だと思うと、一段と美味しく感じます。実りの秋を迎えるので、今後もおいしい作物が取れることに期待です。

第42次ぎょうざれん国会請願署名のご協力ありがとうございました。10月にはぎょうざれん第42回全国大会inあいちが行われます。みんなで盛り上げていきたいと思えます。

これからの季節、たくさんのイベントがあります。今後もみなさまに活動をお知らせしていきたいと思えます。今回、初秋号においてご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。

（石原成章）

ヤマト福祉財団様から助成金のお礼

ヤマト福祉財団様、ご助成ありがとうございました。頂いた199万円の助成金で、わーくす昭和橋の肉まん製造数が今の1.5倍作れるように「ドウコン」を導入させていただきました。この機器の導入で、更に利用者の工賃アップをめざしていきたいと思えます。





ともにつく会ニュース



港区障害者(児)とともに育つ会 〒455-0803 港区入場1-114-1 TEL(052)355-8000

第65回愛知母親大会に参加して

港区障害者(児)とともに育つ会 会長 磯崎明美

2019年8月4日(日)、知多市勤労文化会館にて行われた「第65回愛知母親大会イン知多」に、「港区障害者(児)とともに育つ会」からは、総勢20名が参加しました。

分科会は、「権利・老齢介護問題を考える」に参加しました。

80代の親が50代の子どもを介護しなければならぬ「8050問題」は、知的障害者や重複障害の家族にとっても深刻な問題となっています。高齢者介護との違いは、介護する側が高齢で命が短いということです。障害者自立支援法(現「障害者総合支援法」)以降、「住み慣れた地域で住み続ける」をスローガンに、入所施設の定員削減が続けられ、待機者が増え、簡単に入所できない状況が続ぎ、親・家族は見通しが持てない状況にあります。

急に親が亡くなり短期入所の長期利用である「ロングショート」のたらい回しの末、他府県の施設や、知的障害者にも関わらず精神病院に入院せざるを得ないということが度々あるのが現実です。

参加者での議論の中で、以下の3点の申し合わせ事項を確認しました。①知的障害者や重複障害者にとって「8050問題」は深刻

な問題です。「住み慣れた地域で住み続ける」は、高齢の親が見続けることになり、社会資源を利用できない実情を変えましょう。②入所施設の定員削減により「ショートステイ」を転々とさせる「ロングショート」なる不思議な言葉を使う厚労省の人権侵害にもあたる制度をなくし、入所施設を作らせましょう。③人権は生まれながらに持っている権利、国は国民の人権を保障する義務があります。障害者(児)が安心して「その人らしい生活」が送れるよう「社会への完全参加と平等」を実現するよう行政に訴えていきたいと思います。

憲法25条は国民の権利規定と国家責任の2つから出来ている条文です。社会福祉とは、国民住民の生存権を守る事です。多くの障害者は高齢になっても家族依存の状態が続ぎ、老齢介護や、障害介護「8050問題」などが起こっています。そこには「迷惑をかけたくない」と家族で介護する「自助」の中での懸命な姿があります。行き場のない障害者、家族、地域からも孤立している親子、自助共助の崩壊は進んでいます。私たちは地域生活の危機を打開し、障害者(児)が安心して過ごせる社会を目指して、憲法改悪を許さない運動を進めて行きたいと思えます。



新規会員募集・更新のお願い

「ともに育つ会」は、障害者の権利と生活を守る運動と、障害のある人も、ない人も、誰もが暮らしやすい地域づくりを目指して活動をしています。

個人会員は1口:1,000円～ 団体会員は1口:5,000円～

《振込口座》

- ・ゆうちょ銀行 (口座記号) 00810-3 (口座番号) 214400
- ・百五銀行 当知支店 (店番 033) (口座番号) 16610 (口座名) 港区障害者児とともに育つ会 会長 磯崎 明美

ともに育つ会への御寄付のお礼

- 演劇集団和歌山様より御寄付賜りました。ありがとうございました。
- マックスバリュー港十番店様より、幸せのイエローレシートキャンペーンにてご協力頂いています。いつもありがとうございます。

今後ともご協力宜しくお願いします。